

国語科学習指導案

科目	授業学級	授業場所	使用教科書	授業者
古典	2年4組（普通科理系）40名 （男子17名，女子23名）	2年4組	改訂版高等学校 標準古典 （第一学習社）	柳田 美穂

1 単元（題材）名

少女期の作者が門出するときの心情を探る

教材：「門出」『更級日記』

2 単元（題材）の目標

ア 平安朝の代表的な女流日記文学を読み味わい，作者の生き方やものの見方，感じ方を理解する。

（関心・意欲・態度）

イ 作者の物語への憧憬と惜別の情を，表現に即して読み取る。（読む能力）

ウ 文語文法，敬語について理解し，本文を的確に読解する。（知識・理解）

3 単元（題材）の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
① <u>作者の生き方やものの見方，感じ方について考え，読みを深めようとしている。</u>	① 内容を本文に即して的確に読み取っている。 ② <u>本文の叙述を手がかりとして，作者の心情を把握している。</u>	① 菅原孝標女の生涯や，更級日記の特徴について理解している。 ② <u>敬語の基本的事項について理解している。</u>

4 単元（題材）の指導計画（全5時間）

	主な学習内容	評価規準
第1時	作者理解，「更級日記」の特色理解 単元の学習課題： <u>門出を回想した菅原孝標女の心情を考える</u> 本文通読，現代語訳（p 6 8 始め～8 行目まで） 少女の物語への憧憬が募る場面の内容読解	知識・理解① 読む能力①
第2時	現代語訳（p 6 8，9 行目～p 6 9，1 2 行目まで），内容読解 少女が薬師仏に祈る場面の内容読解	読む能力①
第3時	現代語訳（p 6 9，1 3 行目～最後） 文法事項・敬語事項等の確認 門出の際に薬師仏と別れる場面の内容読解	読む能力② 知識・理解②
第4時 （本時）	<u>敬語事項等の確認，作者の心情理解</u> 本時の学習課題： <u>薬師仏への敬意を踏まえ門出の際の心情を考える</u>	読む能力② 知識・理解②
第5時	作者の心情理解，「源氏の五十余巻」の内容確認 学習のまとめ	関・意・態① 読む能力②

5 教材（単元・題材）観（単元概要）

本教材は、平安期の代表的な女流日記文学である。「源氏物語」に憧れる作者自身の十代の頃の回想が書き綴られており、生徒にとって親しみやすい作品であると考えられる。生徒は夏課外において本教材の続きとなる「源氏の五十余巻」を読んでおり、それと関連付けて内容をより興味深く読むことができるであろう。また、敬語等の既習の重要な文法事項についても、本文を読解していくなかで復習することができる教材である。既習の基礎的・基本的な知識・技能の定着を図りながら読解し、作者の心情やその人生観に触れることで、生徒自身の豊かな感受性を育てる契機となると考える。

6 生徒観（生徒の実際）

学級の雰囲気は落ち着いており、学習態度は真面目である。理系クラスではあるが、国語の授業にも意欲的に取り組み、古文分野への関心もみられる。しかし古文読解のための基礎的な文法事項には、苦手意識をもつ生徒は少なくなく、基礎的・基本的な力が定着していないものが多いのが現状である。したがって、古文の魅力や面白さを味わわせながら生徒の感受性を豊かにするとともに、読解を通して基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るような授業が必要である。文法事項の習得が、確かな読解やより深い内容理解につながることを認識させていきたい。

7 指導観

「門出」は、読解のために語彙力や文法力が必要である。助動詞や助詞、敬語などの既習事項を読解の中で確認し、原文を的確に現代語訳することで、物語の世界へあこがれる作者の心情や、薬師仏への惜別の情を把握させたい。

既に習得している助動詞や助詞に関する基礎的・基本的な知識・技能は、特に授業で取り上げるものをいくつかに絞り、「読む能力①」を育成する時間において、文章の中での意味の判別や現代語訳をする際に活用したい。

また、生徒は前教材「中納言参り給ひて」で敬語について学習している。敬語について、より一層の定着を図るために、本教材でも敬語に着目したいと考える。基本的な事項の確認を含め、更に作者の薬師仏への思いと関連付けながら読ませることで、深い読解へと導くことができるだろう。これまでは、登場人物相互の関係を踏まえて敬語の指導を行ってきた。本教材では仏に対する敬意を踏まえて作者の心情に迫らせたいと考える。的確な読解を通して、作者の生き方やものの見方や感じ方に触れさせることで、生徒自身の人生観を深めていきたい。

8 本時の実際

（1）本時の目標

- ア 作者の心情を、表現に即して読み取る。（読む能力）
- イ 敬語を理解する。（知識・理解）

（2）本時の評価規準

- ・本文の叙述を手がかりとして、作者の心情を把握することができる。（読む能力）
- ・敬語の基本的事項について理解している。（知識・理解）

(3) 本時（第5時）の展開

過程	時間	学 習 活 動	指導上の留意点	評価方法
導 入	8	<ul style="list-style-type: none"> 「門出」の内容を振り返り、本時の学習内容・課題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習内容と目標を理解させる。 門出の際に涙を流していることに注目させる。 	行動の観察
		本時の学習課題「薬師仏への敬意を踏まえ、門出の際の心情について考えよう」		
		<ul style="list-style-type: none"> 少女の物語への憧れと惜別の情がよくでていた場面を想起する。 作者が薬師仏に敬意を払っていることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時学習したことを、ワークシートで確認させる。 本文中の敬語が全て作者から薬師仏への敬意であることに注目させる。 	
展 開	7	【展開1】 <ul style="list-style-type: none"> 作者が、薬師仏に対して敬意を払っている理由について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 薬師仏に向けた作者の思いの深さを確認させる。 	
	10	<ul style="list-style-type: none"> 各自が考えた理由をグループで話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 考えられる理由を検討させる。 	
	8	<ul style="list-style-type: none"> 各グループから、クラス全体に発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 出された理由をグループピングし、板書でまとめていく。 	発表内容の確認 (知識・技能)
	7	【展開2】 <ul style="list-style-type: none"> 門出の際の作者の心情について考えをまとめる。(ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を振り返らせ、深い考察をうながす。 	ワークシートへの記述の確認 (読む能力)
	5	<ul style="list-style-type: none"> 数人に発表させる。 		
終 末	5	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 理由と心情を関連付けたまとめを板書する。 	行動の観察